

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 SEED		
○保護者評価実施期間	2024年12月20日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年12月20日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月19日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・有資格者ばかりの職員により手厚い支援	いままでの経験をいかし、お子様との関わりや寄り添いに慣れているので発達障害のあるお子様への支援が行き届きやすい。 保護者さまとの勉強会もしています。	さらに療育技術の向上のための勉強会などを受講していただき、現場でお子様への療育提供にいかしていただいております。 保護者さまへの伝達の工夫をしています。(動画の送信や写真の送信、いつでもきて見に来ていい体制)
2	地域との交流 地域からの信頼	町内会の皆様に行事によんでいただきまた事業所の活動にご協力いただき、子供たちが愛されていること、大切にされていることを感じさせてもらっています。 また、職員も積極的に町内の役に立てるように行事のお手伝いをしています。	引き続き、いろいろな交流をさらにしていきます。
3	いろいろな郊外活動の提供	日々の療育活動が社会でどうメリットがあるのかを実践する活動を豊富に提供できるようにお出かけの療育も大切にしています。	今後もいろいろな活動を経験させてあげたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パート勤務の方が多いため、周知時間、研修時間などの時間の確保がむずかしい。	勤務時間の関係	パート勤務の方とは月1回は時間を必ず作り支援の周知や研修などの時間を確保していく。 打合せを無駄なくしっかり行っています。
2	療育環境の狭さ		引っ越しや新築を考えています。
3			